

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 12 月 17 日 (2009.12.17)

【公表番号】特表 2009-516434 (P2009-516434A)
 【公表日】平成 21 年 4 月 16 日 (2009.4.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-015
 【出願番号】特願 2008-540323 (P2008-540323)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 52/04 (2009.01)

H 0 4 B 5/02 (2006.01)

H 0 4 B 1/04 (2006.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 4 3 0

H 0 4 B 5/02

H 0 4 B 1/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 10 月 28 日 (2009.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

送信信号を生成するインターフェースモジュールであって：

符号化された送信コードを復号化された送信パワー制御値に変換する復号化回路；

前記復号化回路から受信した前記復号化された送信パワー制御値を、記憶された送信パワー制御値として格納するメモリ；及び

制御信号に応答して前記送信信号を生成する送信回路；

を有し、

前記送信信号のパワーレベルは前記記憶された送信パワー制御値によって制御され、且つ

前記符号化された送信コードの長さの、前記復号化された送信パワー制御値の長さに対する比は 1 0 より大きい、

インターフェースモジュール。

【請求項 2】

前記送信回路は、受信したデータ信号に基づいて、データビット群を前記送信信号へと符号化する、請求項 1 に記載のインターフェースモジュール。

【請求項 3】

前記送信信号は、超広帯域信号、W i F i 信号、B l u e t o o t h 信号、光信号、及び音響信号のうちの 1 つである、請求項 1 に記載のインターフェースモジュール。

【請求項 4】

前記復号化回路は解読回路である、請求項 1 に記載のインターフェースモジュール。

【請求項 5】

前記解読回路は、データ暗号化規格の解読、アドバンスド暗号化規格の解読、公開鍵 - 秘密鍵解読、及び N T R U 解読のうちの 1 つを使用する、請求項 4 に記載のインターフェースモジュール。